

こんにちは

NO,13 2025年 8月

名張市議会議員
日本共産党

三原じゅん子です

三原じゅん子

すずらん台西4-202
☎0595-68-3552

三原じゅん子 名張(HP)
E-mail : junko.mihara@asint.jp

生活相談は
いつでもどうぞ



6月議会報告

令和6年に策定した「市立病院経営強化プラン」では市立病院の建設費の借金が終了し、一般会計からの繰入金金は令和8年度から毎年2億円から3億円ほど減る見込みでした。ところが市立病院は資金不足に陥り、独法化にあたり安定した経営基盤が必要のため、逆に名張市一般会計から3年間で7億7千万円の

市立病院独法化の
資金繰りの為に
中学校給食の
無期延伸!?

市立病院^{独立行政 法人}化は 見直して 堅実な経営に!



独法化以前の経営見通しは悪くなかった

なぜ経営が悪化しているのか?

看護師の離職が止まらないのか?

看護師の退職が続く患者さんを受け入れられず経営は悪化しています。名張市立病院だけでなく、全国の病院の約7割が赤字となっています。民間の病院では医療現場という厳しい環境と併せて、経営悪化で給料が上がらない、ボーナスが支給されない等で看護師の離職が続いています。

そのような中で、名張市は今年の10月から市立病院の独立行政法人化を進めており、6月定例議会で、**名張市病院事業設置条例が廃止**されました。あわせて病院職員定数276人が削除され、給料表も削除されました。病院職員は「住民の医療と福祉の増進を使命」に持つ公務員でしたが、本人の意思は尊重されずに非公務員の法人の職員となります。

労働環境や安定した処遇を整えるのが先です!
看護師の流出を防ぎ病院の稼働率をあげて
市の繰り出し金をおさえなければ
市の借金が増えるばかりです



独法化以前の経営計画では黒字間近の見通しでした。
独法化計画は立ち戻って
市民に寄り添う病院の在り方と適正な財政出動を再考すべきです

公立病院の役割は、民間では担えない不採算医療である救急や小児救急、高度医療を地域の住民に提供すること。又、憲法に保障された基本的人権である、〈誰もが健康に生きる〉ために必要な医療が受けられるようにすることです。だからこそ市立病院には国から毎年交付金が入ります。

病院も中学校給食も、どちらも大事です!!

7月の参議院選挙での日本共産党へのご支持に心より感謝を申し上げます。与党は過半数を割りましたが、日本共産党は11議席から7議席に減ってしまいました。議席は減っても、一人ひとりの命と暮らしを守る政治の実現のために引き続き奮闘します。

追加繰り出しと法人は独自で借金ができないので、名張市が5億円の病院事業債（赤字債）という借金をして独立行政法人に貸し出すことになります。名張市は市立病院への支援を優先するために市長の公約であった中学校給食の実施を無期延伸すると発表しました。

中学校給食は もう先延ばしには ならない!



財政の見直しで予算の確保を

学校給食はただ空腹を満たすためにあるものではありません。給食は学校給食法に基づいた食に係る教育の一環で、全国の義務教育校の98.6%が実施しています。

三重県内の市町で中学校給食がないのは名張市だけ。1954年の法の施行から70年以上も経っているのに名張市の中学生はこの食教育を受けられていないのです。こんなにも長期にわたって実施の先送りするのは行政の責任が問われます。

一方、いまや子どもの貧困は深刻な問題で、7人に1人が貧困状態であるとの数字が公表されています。学校給食は子どもにとって大事な食事です。このことから中学校給食は無期延伸してはならないのです。

病院にお金がかかるから
中学校給食を実施しないのではなく、
他の事業の予算を精査して財源を確保すべきです



例えば、クリーンセンターの機器更新に約40億円が必要と試算が出ていますがこの査定や、公共施設のLEDへの切替えの延伸や小中学校の大規模改修の予算は国補助がつく有利な財源を使うなど、査定の余地はあります。市民との約束どおり実施することを求めます。

住み続けられる名張市であるために

名張市は住み続けられるまちなのか、それには医療も中学校給食も大きく関わってきます。市民に寄り添う公立病院が無く、中学校給食がないまちを子育て世帯は選ばないでしょう。今のままではどんどん人が離れていきます。

●暮らしの安心をつくるのが大事

市内での分娩出産が叶わなくなりました。出産を控える方から不安が広がっています。〈中学校給食実施の約束は果たさない〉〈市立病院は法人化〉〈財政は悪化〉と残念続きで、若い世代が「もう名張終わった」などの声があります。この流れを変えなければなりません。



名張市財政破綻しない、させないために事業費の精査と査定を徹底せよ!!

●伊賀南部クリーンセンター更新費、当初の計画を見直し18億円を削減

7月18日、伊賀南部環境衛生組合議会の全員協議会が開かれました。伊賀南部クリーンセンターごみ焼却施設の機器更新事業についての事業内容と概算事業費についての精査内容が報告されました。

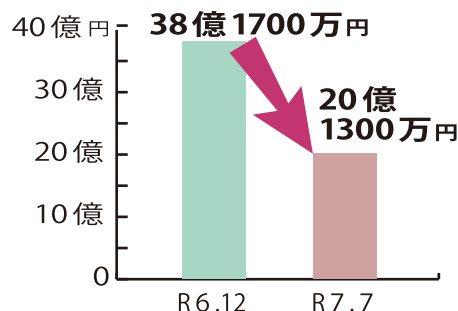
＊概算事業費の概要

＊大規模改修工事に伴う建築工事において、溶融炉本体等の更新機器の搬出入作業に伴う最小限の開口工事のみに変更

＊更新工事を修繕対応にした

当初の伊賀南部クリーンセンター機器更新計画で進めるのではなく、今後もさらなる経費の圧縮に向け、内容の精査を行う。

伊賀南部クリーンセンター
機器更新事業費
算定の変化



R6年に事業費の試算したものを
R7年に再算定したら
なんと18億円も
削減されました

●建設費の高いPFI方式の給食ではなく、自校給食で中学校給食の実現を!

PFIの給食センター方式での方針を決めたのですが、実際は出来ていません。

PFIとは民間の資金調達で設計・建設・運営・維持管理と全て民間で行うものですが、名張市の中学校給食は2500食規模で、民間にしたら採算が取れない食数です。これまでにPFI方式の学校給食を行っている静岡市にも行きましたが4000食以上の規模でした。

PFI方式は15年契約で、自校方式の方が約3億円高い試算ですが、イニシャルコスト（建設費）はセンター方式の方が高くなっています。大きなセンターをつくって維持管理とトラックでの輸送にお金をかけるより、食教育が充実できるそれぞれの学校に調理場をつくることを提案しています。

自校方式は
★出来立ての暖かい給食が食べられます
★災害時の避難所となった時、食事の供給に役立ちます
★地産地消で農業の活性化に寄与します



◆7月末期限の国民健康保険証は来年3月まで移行期間があります

現行の国民健康保険証は有効期限が7月末となっています。

＊マイナ保険証を持っている方は、市から資格情報のお知らせが届きます。

＊マイナ保険証を持っていない方は、「資格確認書」が届きます。

マイナ保険証の利用率は28.65%（全国4月）、厚生労働省が事務連絡を発出資格情報のお知らせのみを持参や期限切れに気づかず従来保険証を持参した場合でも、来年の3月までは10割の自己負担を求めるのではなく従来負担を認めています。

お問合せは
市民部保険年金室
0595-63-7445

◆2024年の定額減税の「不足額給付金」、未受給の方へ

名張市の手続きの開始（通知）時期は9月頃から（名張市ホームページ参照）

2024年に1人4万円（所得税3万円、住民税1万円）の定額減税が実施されました。

定額減税は2023年の所得を基に給付がされましたが、2024年の所得等に変動があり満額受給できていない方に不足給付が行なわれます。

不足給付1、具体例

- ①2024年中に退職、休職、転職で所得が減った
- ②2024年（1月1日～12月31日）に子どもが生まれた
- ③2024年度から新入社員となった
- ④2024年11月以降に住民税の税額修正により定額減税に不足が生じた
- ⑤2023年に一時的に収入が増えていた（不動産売買等）
- ⑥海外からの入国者のうち、2024年に所得が発生し定額減税に不足が生じた

お問合せは
総合企画制作室
0595-63-7389

不足給付2、具体例

低所得世帯向け給付も該当していない方で

- ①合計所得金額が48万円を超えているが非課税の方（ひとり親控除などにより非課税等）
- ②税制上、扶養親族から外れてしまう（事業専従者）
- ③定額減税前の所得税と個人住民税が0円の方

お見逃しの
無いように!



「しんぶん赤旗」
お試しキャンペーンで日曜版を3週間無料でお届けしています
お申込みは右のQRコードか三原じゅん子にお電話ください
☎0595-68-3552 ※留守の場合はメッセージを留守番電話に残してください

